

第68回 西日本
読書感想画
コンクール

九州・山口各県図書館協議会選定
指定図書

小学校高学年5・6年

※価格はすべて税込み価格

西日本読書感想画コンクールは、本を読み、感じたことや考えたこと、心に浮かんだイメージなどを絵に表現することで、読書への意欲を高め、豊かな感性、想像力を育むことを目的に毎年開催しています。前回は約33万点の応募があり、地方での開催としては最大規模を誇ります。



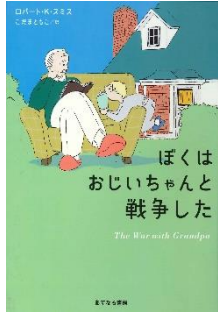
詳しくはこちら

ぼくはおじいちゃんと戦争した

ロバート・K・スミス／作

こだまともこ／訳

【あすなろ書房】1,320円



大好きな「おじいちゃん」といっしょに住むことになったピーターは、喜んだものの自分の部屋をゆずることに猛反発します。そして、おじいちゃんと大激突となり様々ないたづらをしかけます。ピーターは戦っているうちに本当の貧しさや戦争を体験してきたおじいちゃんの人生を知ることになり、おじいちゃんもまた今回の戦いを通して妻を亡くした悲しみから立ち直っていきます。楽しく読めて、ホロっとする味わい深い家族の物語です。

黄色い竜

村上康成／作・絵

【徳間書店】1,870円



クリオは、自然豊かな町にくらす十歳の少年。おじいちゃんから、「クリオと同じ年のとき、湖のぬしのような巨大なさかなをつろうとして、つれなかった」という話をきいて、「自分がそのさかなをつてやる」と決めたとけれど…？ ホタルの飛ぶ夜、田んぼのそばでのキャッチボール、あまいクワの実…自然の中ですごす少年のひと夏をまるごと描き出す、自然派絵本作家村上康成による、みずみずしい物語。カラーのさし絵入り。

暗やみに能面ひっそり

佐藤まどか／作

アンマサコ／絵

【BL出版】1,760円



宗太は夏休みに京都のおじいちゃんのところへ過ごすことになった。和室ばかりで迷路みたいなろう下が続く広い家、能面師のおじいちゃん、かべにかかったいろんな表情の能面たち…。宗太はおじいちゃんに能面の打ち方を教わり、能や能面の世界を知っていく。面打ちに夢中になるうち、両親へ抱いていた複雑な思いも少しずつ変化していき…。日本の伝統文化の職人の世界をわかりやすく描く。

パフィン島の灯台守

マイケル・モーパーゴ／作

ベンジー・デイヴィス／絵

佐藤見果夢／訳

【評論社】1,650円



イギリスのシリー諸島周辺は航海の難所です。ある嵐の夜、しずみかけた船から助けられた乗客の中に、アランという少年がいました。灯台守のベンが全員の命を守ったのです。少年はこのことを忘れず、学校を卒業すると、ふたたびパフィン島に向かいます。ベンと再会し、傷ついた1羽の鳥をいっしょに世話するうちに、パフィン島はアランの心のふるさとになっていきます。時が流れても変わらない、人と人のつながりをえがく物語。

そのころ地球では・・・

時間と宇宙を旅してみつかるぼくたちのいばしょ

オリヴァー・ジェファーズ／作

tupera tupera／訳

【ほるぷ出版】2,200円



「スーパー宇宙カー」に乗った親子が宇宙を旅しながら、はるか昔からくりかえされてきた、地球の人間同士の争いの歴史を振り返ります。「宇宙にくらべたら地球はちっとも大きくはない。だからこそ、地球はたったひとつのかけがえのないものなんだ」という著者の想いが自然に伝わる、今こそ読みたいメッセージ絵本です。人気作家 tupera tupera の訳で楽しさいっぱい！

ニワシドリのひみつをもとめて

ものづくりする鳥のふしぎをさぐる旅

鈴木まもる／作

【理論社】1,650円



「なんでこんなものをつくるんだろう？」子どものころに抱えた謎に迫るべく、著者は「ニワシドリのアズマヤ」をさがす旅に出かけます。オーストラリアにはじまり、粗野な魅力にあふれたニューギニア島、そして秘境の地・イリアンジャヤ。自然あふれる土地土地で取材を進めるうち「アズマヤ」への考察は深まっていき・・・ふしぎな鳥「ニワシドリ」の秘密に迫る、「アズマヤ」に魅せられた絵本作家の大冒険ノンフィクション！